

8/16  
赤紙



**東京 八王子**  
東京都八王子市の八王子駅前15日、安倍自公政権の「戦争する国」づくりに反対するリレートークとパレ



赤紙を配り平和を守ろうと呼びかける女性たち=15日、大阪府

# この子ら戦地に行かせへん

戦後70年の終戦記念日の15日、戦争法案廃案をめざし大阪憲法会議・共同センターと大阪母親大会連絡会、大阪弁護士会などの市民が、大阪市中央区のなんば高層ビル前で、午前10時45分から午後1



大阪

時45分まで取り組まれました。分野別の条の会や労働組合、各団体などから150人が参加しました。  
横断幕などを掲げ、ストリート演説を交えながら参加者が交代でマイクを握って訴える。戦争に行くのは私たち青年やから絶対反対せんとあかん」と話した。日本を戦争する国にはさせません」と訴えました。日本共産党の、わたなべ結参院大坂選挙区候補も参加し、訴えました。

高知

高知県の教育関係者は14日、高知県庁で記者会見し、「教え子を再び戦場に送らない！安全保障関連法案に反対し、その廃案を求める高知県教育関係者のアピール」を発表しました。アピールは、「教え子を再び戦場に送らない」という響いを新たにし、戦争法案の廃



婦人教職員連絡会の川村高子顧問(96)の、元教員2人が参加し、戦争体験を語りました。戦時中から戦後にかけて小学校教員だった川村氏は「思い出すと涙が出る感じが、いっしょと切り出し、「天皇のために命を捨てる」と学び、教師になり子どもにも刷り込むように同じことを教え、子どもたちを戦場へ送った」と語りました。  
戦後、教え子たちへの罪の意識にさいなまれた中、「平和憲法に救われました。当時の校長先生が子どもたち

に平和憲法を説明するのを、まるで1年生が聞くように一生懸命聞き、また一から頑張ろうと思いました」と、この希望がなくなることに怒りと危機感を覚える。少しでも力になりたい」と訴えました。  
OBや現役教員からなる団体を中心にアピールをつくり、呼びかけ人を募りました。元校長や元教育長などが賛同し、1週間で90人集まっています。さらに、教育関係者から賛同者や呼びかけ人を集めていきます。

手を取り戻したい」と訴えました。  
市内在住の大学生の女性(22)は「戦争になれば私たちの日常生活は奪われてしまう。誰もに参加すれば誰でも声を上げることが出来る。皆さん一緒に声を上げて下さい」と訴えました。  
平和に在るま 戦争法案廃案！ 8・15レックアクション」が取り組まれました。  
激しい暑さの中、西武池袋線入間市駅前、赤い服やタオルを身につけた150人の女性たちが「戦争法案絶対反対」「憲法9条を守りましょう」のコールを響かせました。  
参加者が次々とマイクを握りリレートーク。



埼玉・入間

入間市でも、航空自衛隊入間基地(狭山市・入間市)に隣接する留保地(入間市東町)に自衛隊病院など新たな自衛隊施設の建設が計画されていることなどが報告され、「基地拡張は許さない」の声をあげていきます。と訴えました。  
デッキの上からリレートークを聞いていた50代の女性は「今の法案では、何の阻止もなく戦争に巻き込まれてしまうのでは心配です。これだけ心配している人がたくさんいるのに、通してしまるのはおかしい」と話しました。  
日本共産党市議員、無所属の元市議らも参加しました。

入間市でも、航空自衛隊入間基地(狭山市・入間市)に隣接する留保地(入間市東町)に自衛隊病院など新たな自衛隊施設の建設が計画されていることなどが報告され、「基地拡張は許さない」の声をあげていきます。と訴えました。

教え子を戦場に送った元教員「平和憲法に救われた」  
に平和憲法を説明するのを、まるで1年生が聞くように一生懸命聞き、また一から頑張ろうと思いました」と、この希望がなくなることに怒りと危機感を覚える。少しでも力になりたい」と訴えました。  
OBや現役教員からなる団体を中心にアピールをつくり、呼びかけ人を募りました。元校長や元教育長などが賛同し、1週間で90人集まっています。さらに、教育関係者から賛同者や呼びかけ人を集めていきます。